

農地等利用最適化推進施策の改善に関する

意見書

令和6年8月9日

五泉市農業委員会

日頃から、五泉市の農業振興について積極的な取り組み並びにご尽力を賜り、当農業委員会の活動、運営につきましても格別なるご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や後継者・労働不足、農産物価格の低迷など、非常に厳しい状況が続いております。

さらに、近年、気候変動による農作物への被害や有害鳥獣による農地等への被害が増加している状況であります。

また、世界的な経済情勢により、多くの農業資材が高騰し、農業経営のコストは高くなる一方、農産物の価格転嫁は厳しい状況にあり農業経営に深刻な打撃を与えています。

このような中、当農業委員会では、農業委員会の最も重要な業務に位置付けられている「農地等利用最適化の推進」に向け、農業委員、農地利用最適化推進委員が連携し、農地の集積・集約化、遊休農地発生防止等の活動を行っております。

五泉市におかれましても、これらの課題解決に向けた施策を企画、実行していただき、農業所得の向上と農業経営安定化を図り、持続可能な地域農業の確立に向けた取り組みをお願いします。

つきましては、令和7年度の予算編成にあたり特段のご配慮を賜りますとともに、国・県に対しても早急な施策の展開を強く求めていますよう、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、意見書を提出いたします。

令和6年8月9日

五泉市長 田邊 正幸 様

五泉市農業委員会  
会長 松尾 タカ子

## 農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見

### 1、国・県に対する意見（意見の上申を求めるもの）

#### 《国に対する意見》

##### （1）国の政策の見直し等について

- ① 先般公布された、国内の食料危機に備える食料供給困難事態対策法では、異常気象や紛争等で米や小麦、大豆が大幅に不足した場合、国は農家などに対し増産するよう生産計画の提出を要請できるものとし、従わない場合は20万円の罰金を科すとした。

制度の運用に当たっては、生産者等に過度な負担を強いることがないよう配慮し、事前の合意形成を図ることを要望する。

- ② ウクライナを始めとする海外支援の必要性は認識しているが、国内の農家の経営状況も危機的状況にある。農業だけではないが、もっと国内の問題に目を向けて支援を行ってほしい。

農業は日本のみならず、人間の生命に関わる食の事業であるため、農業所得に対して公的保証制度を設けるなど手厚い支援をお願いしたい。

- ③ 地域計画策定後、農地の権利設定は、農業経営基盤強化促進法による集積計画は廃止され、農地バンク法による促進計画又は、農地法による3条許可となる。農地バンク法での契約は手数料が発生し、農家にとって大きな負担となるため、これら経費の支援を行うなど対策をお願いしたい。

##### （2）有害鳥獣対策について

近年、有害鳥獣による農作物被害が増加している。現在、有害鳥獣駆除に対する許可は、狩猟免許保有者に対するものがほとんどであるが、個人でも有害鳥獣捕獲がしやすいように制度の改正をお願いしたい。

《県に対する意見》

(1) 河川の維持管理について

雑木の伐採、除草、堆積土の除去など継続的な維持管理をしてほしい。  
特に大雨で河川が氾濫した際に農作物への被害が危惧される。

一部の地域では重機や人力で草刈りが行われているが、上流では一切行われていない。こうした状況が、害獣等の通り道となり農作業に危険を感じることや、鳥（鴨）のすみかとなり直播田に被害が出ている。

(2) 早出川ダムの管理について

早出川ダムは竣工以来 40 年以上を経過している。計画上の堆砂量 340 万立方メートルに対する実際の堆砂量が、平成 30 年度に 115 万立方メートル (34%) だったものが、わずか 3 年後の令和 3 年度には 176 万立方メートル (51%) と大幅に増加していると公表されており、非常に不安を感じている。早急な対応をお願いしたい。

併せて、夏季の渇水を防ぐため、安定的な貯水量の確保を検討・実施されたい。

## 2、五泉市農業施策に関する意見

### (1) 遊休農地の発生防止について

農業者の高齢化、後継者不足などの理由から、農地を適切に保全管理していくことが難しくなっている。農地の利用、管理方法について見直しが必要だと感じている。そのため、以下のような取り組みを検討してほしい。

- ① 遊休農地発生防止を目的に、市や再生協議会等で歩行用の草刈り機を購入し、貸し出しを行ってほしい。
- ② ボランティア等を募って、農作物を作りフードバンクへ寄付したり、花を植えたりするなど遊休農地の活用を検討してほしい。

### (2) 農業支援の新設・拡充について

気候変動や農業用資材等の価格高騰など、農家の経営は非常に厳しい状況が続いている。農業機械の購入や施設の修繕など経営支援に繋がる制度の新設や拡充をお願いしたい。

### (3) 有害鳥獣対策について

有害鳥獣による農地、農作物等の被害が発生しているため、被害対策事業の拡充等をお願いしたい。具体的には、駆除を行う猟友会に対する日当の増額や電気柵等導入支援の拡充、イノシシにより破壊された畔の復旧費用に対する補助事業の新設をお願いしたい。

### (4) 新規就農者の育成について

小学校向けの食育ビデオ、五泉高校向けの農業分野のビデオ教材の撮影に市内農家が協力しているが、視聴するだけのビデオ制作では勿体ないと思う。

就農者の増加・担い手不足の解消・遊休農地の縮小に繋げるため、例えば興味を持ってくれた人との交流の場や畑作体験など、見てもらった後の次のステップを検討してほしい。

### (5) 五泉産農産物のアピールについて

もっと五泉の野菜や米、特産品をアピールできないかと考える。例えば、ラポルテ五泉で朝市のようなイベント等を開催し、五泉産農産物等を販売する機会を増やしてほしい。

### (6) 国・県への意見要望について

昨年農業委員会からの意見に対して回答をいただきたい。現状では、国・県への要望に対して反応が分からない。市に対しても同様のため、対応を願う。